

II ニーズの把握

ニーズを把握するための意見交換会を行なうとともに、今後のバス路線の検討にあたり、バス事業者へヒアリング調査を行なった。

また、本市は日常生活において周辺市町村から移動する人のみならず、県内・外を問わず、観光目的で訪れる人が多く存在していることから、本市を訪れる人を対象とした各種アンケートを実施し、総合交通戦略にそのニーズを反映することとした。

なお、交通基本計画策定時に市民アンケート調査や関係者ヒアリング調査を実施し、その意見を反映しており、これら調査結果は総合交通戦略においても反映することとする。

各種意見の把握は以下のとおり行なった。

表 1 ニーズの把握方法

意見の把握方法	実施概要
1. 意見交換会	○実施地区：北部地区（石川地区）、中南部地区（具志川地区）、東部・島しょ地区（与那城・勝連地区）の3地区で実施 ○実施方法：各地区別に参加者を募り、参加者からの意見を収集 ○実施期間：令和元年11月19日（火）～22日（金） （うち3日間で実施）
2. バス事業者ヒアリング調査	○対象事業者：株式会社琉球バス交通、沖縄バス株式会社、東陽バス株式会社 ○実施期間：令和元年11月14日（木）、20日（水）
3. web アンケート調査	○対象者：市外在住者400人 本市を除く県内居住者200人 県外居住者200人 ○実施期間：令和元年12月19日（木）～20日（金）
4. 市内高校生アンケート調査	○対象学校：石川高等学校、具志川高等学校、具志川商業高等学校、中部農林高等学校、前原高等学校、与勝高等学校、沖縄高等特別支援学校 ○配布数：各校に対して各学年1クラスを目安に配布
5. 市内小中学校勤務の教諭アンケート調査	○対象学校：市内小中学校 計27校（小学校17校、中学校9校、小中学校1校） ○対象者：市内小中学校勤務の教諭（校長・教頭・教諭）
6. 中城湾港新港地区の通勤者アンケート調査	○対象企業：中城湾港新港地区立地企業のうち11社

1. 意見交換会

北部地区（石川地区）、中南部地区（具志川地区）、東部・島しょ地区（与那城・勝連地区）の3地区で意見交換会を実施し、市民ニーズの把握を行なった。

意見交換会の概要は以下のとおりである。

表 2 意見交換会の概要 (1/3)

地区名	実施日	意見交換会での意見
北部地区 (石川地区)	令和元年 11月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○建設中のサンエー石川シティから赤崎交差点向けの朝夕渋滞が酷い。信号の時間調整はできないのか。 ○石川運動公園前の道路を通る車両が朝と夕方だけ多いが、交通量を減らすことはできないのか。例えば、一方通行にする等。また拡幅する話を聞いたことがあるがどうなのか。 ○石川旧庁舎と公園の活用が産業基盤に変更になったため、いつ整備されるのか期待できない。国道付近に新たなバイパスを整備するしか、石川の交通渋滞は解消されないと思う。 ○美原ゴルフレンジ前の朝と夕方が渋滞しているので、交差点に左折帯は整備できないのか。 ○美原地区を施設間連絡バスが通過しているのに施設でしか停車しないため利用できない。公共交通空白地域になっているのに施設間連絡バスが利用できない状況なので、乗車運賃を払っても良いのでコミュニティバスを導入できないのか。 ○施設間連絡バスの運用費が年間1000万円、バス会社に委託した場合2500万円なら、現状の1日の利用者が70人から見ても、ルートを拡大してコミュニティバスを導入した方が費用対効果は得られると思うが。公共バスを利用しないと渋滞も緩和されない。 ○LRTの検討は。 ○行政としては高齢化が進む地域に対して病院や福祉施設へ通える等、人としての最低限の保証は必要。お金がないというのは理由にならない。 ○施設間だけでなく、既存のバス停に停車できる様に検討でなく検証して欲しい。まずは直ぐに実行できることをやって欲しい。 ○企業独自の巡回バスをお願いして補助をすることはできないのか。 ○銀座通りから石川旧庁舎へ向けた際の優先道路がわかりづらい。

表 3 意見交換会の概要 (2/3)

地区名	実施日	意見交換会での意見
中南部地区 (具志川地区)	令和元年 11月20日(水)	<p>○公共施設間連絡バスの具志川石川線、具志川与勝線とあるが、公共交通がない中城湾港新港地区への公共施設間連絡バスのルート拡充は可能か。</p> <p>○喜屋武交差点について安謝高架橋を参考に立体交差等で渋滞を緩和できる道路整備をお願いしたい。</p> <p>○信号待ちしないで済む左折レーンを整備して欲しい。県道においては市が整備できないので市道や農道等、市が整備できる道路を活用した道路整備を検討して頂きたい。</p> <p>○防災の観点から、片側1車線道路も災害時は対向車線も利用できるソフト的な運用を考えて頂きたい。また停電時でも安全に通行できる交差点(ラウンドアバウト)を増やして頂きたい。</p> <p>○東陽バスのルートを、泡瀬から州崎→勝連城跡→屋慶名(海中道路前)のルートを提案して欲しい。</p> <p>○バスの運転手が不足しているのであれば市が支援・育成するとか、うるま市と同規模で同様な問題を抱えていた事例を参考にできないのか。</p> <p>○ドン・キホーテ交差点(喜屋武・州崎向け)に右折信号の設置を希望する。</p> <p>○うるマルシェ付近へ施設間連絡バスのルート検討はあるのか。</p> <p>○鉄軌道はどのようなのでしょうか。見込みはあるのでしょうか。実現に向けた取組みは行っておりますか。あわせて勝連半島まで繋ぐ交通体系も考えて頂きたい。</p> <p>○県道75号線の基幹バス延伸は可能なのか。</p> <p>○免許返納後の交通手段確保はどうなっているか。</p> <p>○施設間連絡バスの利用者の意見を取った方が良い。</p> <p>○公共バスの便を少なくしてでも運行する等、市の有償バスを運行しても良いのでは。</p>

表 4 意見交換会の概要 (3/3)

地区名	実施日	意見交換会での意見
東部・島しょ地区（与那城・勝連地区）	令和元年 11月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ○都市政策課が司令塔として実行できる「力」が必要である。交通に関する関係部署をまとめる組織作りは出来ているのか。 ○島しょ部の人口が激減する中で将来の都市交通計画とあるが、概ね20年後とあるが、上位計画である総合計画は5年、10年と期間が短いので、総合計画にも反映する必要があるのではないか。 ○（仮称）うるま IC と（仮称）中部東道路は何年後には実現するという思いで取組んでおりますか。 ○藪地島と浜比嘉を繋ぐ橋梁を位置付けられないか。 ○自転車を活用した交通形態や自家用有償制度の導入は検討しているのか。 ○安慶名十字路までバスレーン延伸は計画しないのか。 ○鉄軌道を想定した道路計画をして頂きたい。 ○右折帯や右折信号が無い道路の朝夕ラッシュ時だけでも信号の時間調整はできないのか。 ○地域公共交通網形成計画はうるま市にないのか。 ○公共交通機関の料金を下げないと利用者も増えない。 ○宅配をドローン活用する等、先進技術の導入は考えているのか。 ○新時代に向けた旧市町を結ぶ交通体形も作って頂きたい。個人としては北中城 IC と与勝地域を結ぶ高速道路が欲しい気持ちもある。

2. バス事業者ヒアリング調査

バス事業者から今後の路線バス検討にあたっての意見を収集した。

バス事業者ヒアリング調査の調査結果は下表のとおりである。

中城湾港新港地区へのバス路線の延伸については、中城湾港新港地区に立地する企業の従業員のニーズを踏まえたうえで、検討していく必要がある。

また、安慶名の広域交通結節点*は、具志川バスターミナルの機能充実のみならず、数社使用できるバスターミナル新設も検討していく必要がある。

さらに、公共交通の基盤を支えるという意味において、市として運転手育成のための支援について検討が必要である。

※広域交通結節点：鉄軌道を含む新たな公共交通と支線公共交通の結節

表 5 調査結果の概要

対象事業者	株式会社琉球バス交通	沖縄バス株式会社	東陽バス株式会社
実施日	令和元年11月14日(木)	令和元年11月20日(水)	令和元年11月14日(木)
運行に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> ○運転手不足（高齢化、インバウンド観光増加に伴う貸切バス増加等）。 ⇒現在は定年延長で対応している。 ○勤務時間の遵守（働き方改革、8時間休憩等）もあり、運転手が不足している。 ○定時制高校や塾帰りにも利用できる終バス運行に関する要望あり。 ○渋滞に伴う遅延が問題となっている。 		
公共施設間連絡バスの運行について	○検討は可能である。	○運転手を確保していた だけなら、運行しても よいと考える。	○以前、運行の依頼を受け て検討したが、運行距離 が長く難しいと回答した 経緯がある。
バス路線延伸の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ○基幹バス延伸は可能である（琉球バス、沖縄バス）。 ○電話で前原地区へのバス延伸の要望をされたことがある。 ○H26 実証実験（具志川～中城湾港新港地区）の利用者が少なかったことから、今回の企業アンケート結果を見て中城湾港新港地区への延伸を検討したい。 		
交通結節点について	○具志川バスターミナルの 駐車場が狭いので広 げたい。	○安慶名に交通結節点が あれば、那覇～安慶名で 基幹バス、安慶名～屋慶 名で支線バスを運行し、 効率的な運行が可能と なる。	—

3. web アンケート調査

web アンケート調査の調査結果は下表のとおりである。

県内居住者（うるま市を除く）、県外居住者とも、うるま市へのアクセス・うるま市内での移動においては「自家用車」や「レンタカー」を利用する人がほとんどであり、路線バスの利用者はわずかである。

そのため、「県内主要都市・拠点等からのアクセス時間の短縮」や「IC 周辺や市内の渋滞緩和」に期待するとの回答が多い。一方で、「県内主要都市・拠点や近隣市町村からの公共交通サービスの充実」も同様に多くなっており、公共交通利用環境の向上により公共交通を利用した観光周遊ネットワークを構築していく必要がある。

表 6 調査結果の概要 (1/2)

回答者の属性	<ul style="list-style-type: none"> ○回答者数は 400 人であり、うるま市を除く県内居住者（以下、県内居住者という）が 200 人、県外居住者が 200 人。 ○県内居住者は那覇市在住者が約 32%と多く、次いで沖縄市（約 14%）、浦添市（約 9%）が多い。 ○県外居住者は関東が約 47%と最も多く、県別では東京都、神奈川県、大阪府が多い。 ○性別は県内居住者、県外居住者とも男性が 6～7 割と多い。 ○年齢は 20 代が 1 割程度とやや少ないものの、30～60 歳以上まで幅広い。
うるま市への来訪について	<ul style="list-style-type: none"> ○来訪目的については、県内居住者は「食事・娯楽・ショッピング」が約 52%と最も多く、次いで「買い物（食料品などの購入）」が約 40%と多い。ただし、「業務（営業、打合せ、運搬等）」や「通勤・通学」といった日常目的での来訪もみられる（県外居住者は観光での来訪者を対象としたため、観光が 100%で最も多い）。 ○来訪頻度については、県内居住者は日常的な来訪目的はみられるものの、「年に数回」未満が約 67%を占め、県外居住者は観光目的での来訪のため「年に 1～2 回以下」が約 95%を占める。 ○来訪場所については、県内居住者は「中部地域」が約 57%と最も多く、県外居住者は「東部島しょ地域」が約 61%と最も多い。 ○うるま市へアクセスする際の交通手段、うるま市を移動する際の交通手段については、県内居住者は「自家用車（自分で運転）」が約 8 割と最も多く、「路線バス」などの公共交通機関は 10%以下である。 ○県外居住者は「レンタカー」が約 8～9 割と最も多く、「路線バス」などの公共交通機関は県内居住者同様、10%以下である。 ○うるま市へアクセスする際の高速道路の利用については、県内居住者が約 4 割、県外居住者が約 7 割であり、最寄りの利用高速道路 IC では「沖縄北 IC」、「沖縄南 IC」が多い。

表 7 調査結果の概要 (2/2)

<p>うるま市内外の移動に関する問題</p>	<p>○うるま市内外の移動に関する問題の評価では、市内居住者、市外居住者とも同様の傾向であり、「県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村からのアクセスに時間がかかる」が約 60%と最も多く、次いで「県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村から公共交通でのアクセスが不便」が約 56%、「IC までの距離が遠い」が約 48%と多い。</p>																																																																																																																								
<p>今後のうるま市の道路・交通面の施策の必要性</p>	<p>○県内主要都市・拠点等からのアクセス時間や公共交通サービスなど都市間アクセスに関する施策、IC 周辺や市内の渋滞緩和など市内の交通環境、バスの利用環境、観光に関連した施策など、どの項目についても必要との回答が多い。</p> <p>○県内居住者では那覇市在住者が多いことや県外居住者が多いためか、特に、「県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村からのアクセス時間の短縮」、「県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村から公共交通サービスの充実」が 50%以上と多い。</p> <p>〔今後のうるま市の道路・交通面の施策の必要性〕 ※各選択肢とも回答者数は 400 人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策</th> <th>必要</th> <th>やや必要</th> <th>どちらでもない</th> <th>あまり必要ない</th> <th>必要ない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村からのアクセス時間の短縮</td> <td>18.8</td> <td>36.0</td> <td>31.8</td> <td>10.0</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村から公共交通サービスの充実</td> <td>20.3</td> <td>31.3</td> <td>37.0</td> <td>8.0</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>新たなICの整備</td> <td>12.8</td> <td>18.3</td> <td>47.3</td> <td>14.0</td> <td>7.8</td> </tr> <tr> <td>IC周辺や市内の渋滞緩和</td> <td>13.0</td> <td>22.5</td> <td>46.5</td> <td>12.3</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>ICまでのアクセス道路の整備</td> <td>12.5</td> <td>26.3</td> <td>44.0</td> <td>10.5</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>うるま市内のバイパスや那覇市方面と連絡するバイパス等の整備</td> <td>13.3</td> <td>29.5</td> <td>42.8</td> <td>9.3</td> <td>5.3</td> </tr> <tr> <td>勝連城跡や海中道路などへの高速道路の整備</td> <td>13.5</td> <td>26.8</td> <td>42.0</td> <td>10.3</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>うるま市へのアクセスしやすいバス路線の整備</td> <td>13.0</td> <td>27.3</td> <td>46.5</td> <td>8.3</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>市内主要拠点を連絡する利用しやすいバス路線の整備</td> <td>14.0</td> <td>22.8</td> <td>48.8</td> <td>9.0</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>中城湾港新港地区へ連絡するバス路線の整備</td> <td>12.3</td> <td>20.3</td> <td>51.8</td> <td>10.0</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>高齢者や免許返納者等が利用しやすいバス路線の整備</td> <td>15.8</td> <td>23.3</td> <td>48.5</td> <td>6.5</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>バス専用レーンなどバスの走行環境の改善</td> <td>9.3</td> <td>18.0</td> <td>54.3</td> <td>11.8</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>バスセンターなど交通拠点の整備</td> <td>10.3</td> <td>20.3</td> <td>54.0</td> <td>9.5</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>バス停の周辺環境の改善（駐車場・駐輪場・屋根等の整備等）</td> <td>9.8</td> <td>22.3</td> <td>53.3</td> <td>8.8</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>自転車道の整備など自転車の利用環境の改善</td> <td>9.0</td> <td>21.5</td> <td>54.0</td> <td>9.8</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>観光施設周辺などのレンタサイクル・シェアサイクルの導入</td> <td>12.3</td> <td>23.8</td> <td>48.0</td> <td>10.0</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>景観や観光を楽しくするような道路空間の整備</td> <td>12.0</td> <td>32.8</td> <td>41.5</td> <td>8.8</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>イベント時の会場や観光施設へのシャトルバスの運行</td> <td>11.3</td> <td>25.3</td> <td>50.3</td> <td>8.0</td> <td>5.3</td> </tr> <tr> <td>主要拠点や観光施設等の案内の充実</td> <td>13.8</td> <td>30.3</td> <td>43.5</td> <td>7.8</td> <td>4.8</td> </tr> </tbody> </table>	施策	必要	やや必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない	県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村からのアクセス時間の短縮	18.8	36.0	31.8	10.0	3.5	県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村から公共交通サービスの充実	20.3	31.3	37.0	8.0	3.5	新たなICの整備	12.8	18.3	47.3	14.0	7.8	IC周辺や市内の渋滞緩和	13.0	22.5	46.5	12.3	5.8	ICまでのアクセス道路の整備	12.5	26.3	44.0	10.5	6.8	うるま市内のバイパスや那覇市方面と連絡するバイパス等の整備	13.3	29.5	42.8	9.3	5.3	勝連城跡や海中道路などへの高速道路の整備	13.5	26.8	42.0	10.3	7.5	うるま市へのアクセスしやすいバス路線の整備	13.0	27.3	46.5	8.3	5.0	市内主要拠点を連絡する利用しやすいバス路線の整備	14.0	22.8	48.8	9.0	5.5	中城湾港新港地区へ連絡するバス路線の整備	12.3	20.3	51.8	10.0	5.8	高齢者や免許返納者等が利用しやすいバス路線の整備	15.8	23.3	48.5	6.5	6.0	バス専用レーンなどバスの走行環境の改善	9.3	18.0	54.3	11.8	6.8	バスセンターなど交通拠点の整備	10.3	20.3	54.0	9.5	6.0	バス停の周辺環境の改善（駐車場・駐輪場・屋根等の整備等）	9.8	22.3	53.3	8.8	6.0	自転車道の整備など自転車の利用環境の改善	9.0	21.5	54.0	9.8	5.8	観光施設周辺などのレンタサイクル・シェアサイクルの導入	12.3	23.8	48.0	10.0	6.0	景観や観光を楽しくするような道路空間の整備	12.0	32.8	41.5	8.8	5.0	イベント時の会場や観光施設へのシャトルバスの運行	11.3	25.3	50.3	8.0	5.3	主要拠点や観光施設等の案内の充実	13.8	30.3	43.5	7.8	4.8
施策	必要	やや必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない																																																																																																																				
県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村からのアクセス時間の短縮	18.8	36.0	31.8	10.0	3.5																																																																																																																				
県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村から公共交通サービスの充実	20.3	31.3	37.0	8.0	3.5																																																																																																																				
新たなICの整備	12.8	18.3	47.3	14.0	7.8																																																																																																																				
IC周辺や市内の渋滞緩和	13.0	22.5	46.5	12.3	5.8																																																																																																																				
ICまでのアクセス道路の整備	12.5	26.3	44.0	10.5	6.8																																																																																																																				
うるま市内のバイパスや那覇市方面と連絡するバイパス等の整備	13.3	29.5	42.8	9.3	5.3																																																																																																																				
勝連城跡や海中道路などへの高速道路の整備	13.5	26.8	42.0	10.3	7.5																																																																																																																				
うるま市へのアクセスしやすいバス路線の整備	13.0	27.3	46.5	8.3	5.0																																																																																																																				
市内主要拠点を連絡する利用しやすいバス路線の整備	14.0	22.8	48.8	9.0	5.5																																																																																																																				
中城湾港新港地区へ連絡するバス路線の整備	12.3	20.3	51.8	10.0	5.8																																																																																																																				
高齢者や免許返納者等が利用しやすいバス路線の整備	15.8	23.3	48.5	6.5	6.0																																																																																																																				
バス専用レーンなどバスの走行環境の改善	9.3	18.0	54.3	11.8	6.8																																																																																																																				
バスセンターなど交通拠点の整備	10.3	20.3	54.0	9.5	6.0																																																																																																																				
バス停の周辺環境の改善（駐車場・駐輪場・屋根等の整備等）	9.8	22.3	53.3	8.8	6.0																																																																																																																				
自転車道の整備など自転車の利用環境の改善	9.0	21.5	54.0	9.8	5.8																																																																																																																				
観光施設周辺などのレンタサイクル・シェアサイクルの導入	12.3	23.8	48.0	10.0	6.0																																																																																																																				
景観や観光を楽しくするような道路空間の整備	12.0	32.8	41.5	8.8	5.0																																																																																																																				
イベント時の会場や観光施設へのシャトルバスの運行	11.3	25.3	50.3	8.0	5.3																																																																																																																				
主要拠点や観光施設等の案内の充実	13.8	30.3	43.5	7.8	4.8																																																																																																																				

4. 市内高校生アンケート調査

市内高校生アンケート調査の調査結果は下表のとおりである。

通学時においては市内居住者の方が「路線バス」で通学する割合が低い。また、市内居住者は「路線バス」での通学を検討したことがあるとの回答が少なく、「路線バス」の利用意向が低い傾向となっている。ただし、具志川商業高等学校や中部農林高等学校については「路線バス」の利用が多くなっている。また、バス利用のための改善点では、市内居住者、市外居住者とも「定時性の向上」、「運行本数が多い」、「朝早くから夜遅くまで運行している」が多くなっている。

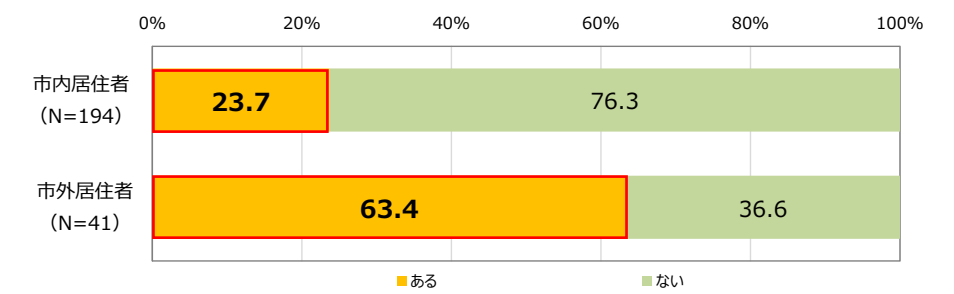
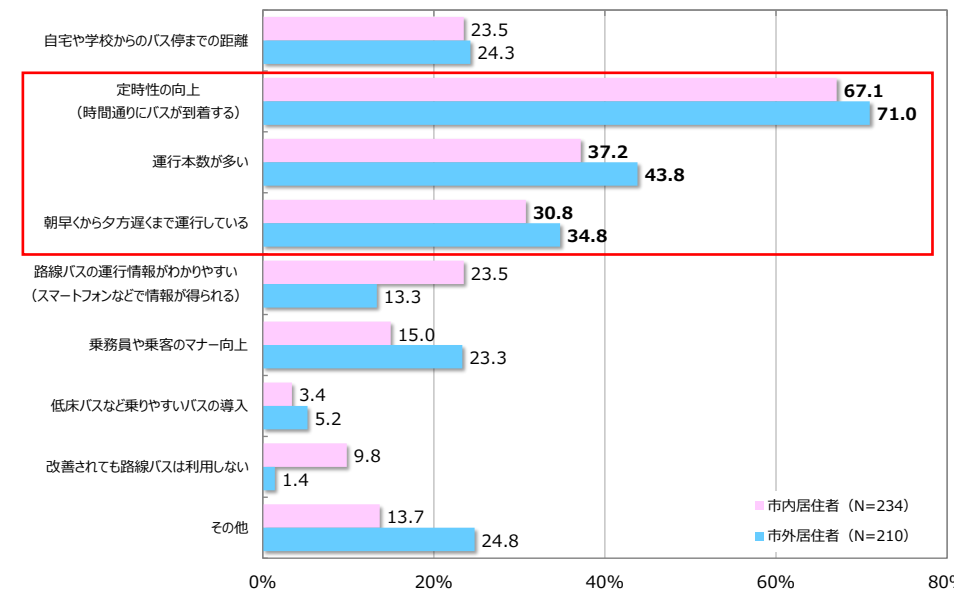
以上のことから、今後の公共交通利用促進に向けては、

- ①市内居住者については、公共交通の利用意識の向上
- ②安慶名周辺のバスの利用環境の改善
- ③「通学・下校に合わせた運行改善」などのバスの利用環境の改善が必要である。

表 8 調査結果の概要 (1/2)

回答者の属性	<p>○回答者数は 790 人であり、うるま市内居住者が 511 人、市外居住者が 268 人（居住地不明が 11 人）。</p> <p>○居住地不明を除くと、市内居住者が約 7 割、市外居住者が約 3 割。</p>																																																																				
通学時における 路線バス利用	<p>○通学時の交通手段は、市内居住者は「自家用車（家族等の送迎）」が約 74%と最も多く（「路線バス」は約 32%）、親の通勤にあわせて通学していることが多くなっていることがうかがえる。一方、市外居住者は「路線バス」が約 72%と最も多い（「自家用車（家族等の送迎）」も約 60%）。</p> <p>〔通学時の交通手段〕</p> <table border="1"> <caption>通学時の交通手段の割合</caption> <thead> <tr> <th>交通手段</th> <th>市内居住者 (N=508)</th> <th>市外居住者 (N=267)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>徒歩</td><td>12.0%</td><td>34.3%</td></tr> <tr><td>自転車</td><td>8.9%</td><td>5.2%</td></tr> <tr><td>自家用車 (家族等の送迎)</td><td>59.6%</td><td>73.6%</td></tr> <tr><td>路線バス</td><td>31.5%</td><td>71.5%</td></tr> <tr><td>タクシー</td><td>2.0%</td><td>2.6%</td></tr> <tr><td>二輪車 (自転車・原付など)</td><td>1.8%</td><td>1.1%</td></tr> <tr><td>モルレール</td><td>0.0%</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0.0%</td><td>0.4%</td></tr> </tbody> </table> <p>※複数回答を集計</p> <p>○高校別に通学時の交通手段をみると、市外居住者が多い高校では「路線バス」が多くなる傾向にあり（具志川商業高等学校、中部農林高等学校）、具志川バスターミナル前にある前原高等学校など、市内居住者が多い高校では「路線バス」が少なくなる傾向にある。</p> <p>○また、市内居住者が多い高校では「自家用車（家族等の送迎）」が多い場合もみられる。</p> <p>〔高校別の通学時の交通手段〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>石川高等学校</th> <th>具志川高等学校</th> <th>具志川商業高等学校</th> <th>中部農林高等学校</th> <th>前原高等学校</th> <th>与勝高等学校</th> <th>沖縄高等特別支援学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内居住者の割合</td> <td>71.1%</td> <td>68.4%</td> <td>56.6%</td> <td>43.2%</td> <td>71.3%</td> <td>94.6%</td> <td>8.3%</td> </tr> <tr> <td>市外居住者の割合</td> <td>28.9%</td> <td>31.6%</td> <td>43.4%</td> <td>56.8%</td> <td>28.7%</td> <td>5.4%</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">通学時の交通手段別の割合*</td> <td>路線バス</td> <td>33.3%</td> <td>28.1%</td> <td>66.0%</td> <td>62.9%</td> <td>44.0%</td> <td>23.3%</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td>自家用車 (家族等の送迎)</td> <td>57.3%</td> <td>90.4%</td> <td>55.6%</td> <td>65.0%</td> <td>69.8%</td> <td>82.2%</td> <td>33.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※複数回答のため合計が 100%とはならない。</p>	交通手段	市内居住者 (N=508)	市外居住者 (N=267)	徒歩	12.0%	34.3%	自転車	8.9%	5.2%	自家用車 (家族等の送迎)	59.6%	73.6%	路線バス	31.5%	71.5%	タクシー	2.0%	2.6%	二輪車 (自転車・原付など)	1.8%	1.1%	モルレール	0.0%	0.4%	その他	0.0%	0.4%		石川高等学校	具志川高等学校	具志川商業高等学校	中部農林高等学校	前原高等学校	与勝高等学校	沖縄高等特別支援学校	市内居住者の割合	71.1%	68.4%	56.6%	43.2%	71.3%	94.6%	8.3%	市外居住者の割合	28.9%	31.6%	43.4%	56.8%	28.7%	5.4%	91.7%	通学時の交通手段別の割合*	路線バス	33.3%	28.1%	66.0%	62.9%	44.0%	23.3%	91.7%	自家用車 (家族等の送迎)	57.3%	90.4%	55.6%	65.0%	69.8%	82.2%	33.3%
交通手段	市内居住者 (N=508)	市外居住者 (N=267)																																																																			
徒歩	12.0%	34.3%																																																																			
自転車	8.9%	5.2%																																																																			
自家用車 (家族等の送迎)	59.6%	73.6%																																																																			
路線バス	31.5%	71.5%																																																																			
タクシー	2.0%	2.6%																																																																			
二輪車 (自転車・原付など)	1.8%	1.1%																																																																			
モルレール	0.0%	0.4%																																																																			
その他	0.0%	0.4%																																																																			
	石川高等学校	具志川高等学校	具志川商業高等学校	中部農林高等学校	前原高等学校	与勝高等学校	沖縄高等特別支援学校																																																														
市内居住者の割合	71.1%	68.4%	56.6%	43.2%	71.3%	94.6%	8.3%																																																														
市外居住者の割合	28.9%	31.6%	43.4%	56.8%	28.7%	5.4%	91.7%																																																														
通学時の交通手段別の割合*	路線バス	33.3%	28.1%	66.0%	62.9%	44.0%	23.3%	91.7%																																																													
	自家用車 (家族等の送迎)	57.3%	90.4%	55.6%	65.0%	69.8%	82.2%	33.3%																																																													

表 9 調査結果の概要 (2/2)

<p>通学時における 路線バス利用</p>	<p>○路線バス非利用者を対象とした「バスでの通学を検討したことがあるか」との質問に対して、「検討したことがある」は市内居住者が約 24%に留まっているのに対し、市外居住者は約 63%と、市内居住者の方が利用意向も低い。</p> <p>〔バスでの通学を検討したことがあるか（対象：路線バス非利用者）〕</p>  <table border="1"> <caption>バスでの通学を検討したことがあるか (対象：路線バス非利用者)</caption> <thead> <tr> <th>居住者</th> <th>ある (%)</th> <th>ない (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内居住者 (N=194)</td> <td>23.7</td> <td>76.3</td> </tr> <tr> <td>市外居住者 (N=41)</td> <td>63.4</td> <td>36.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>○バスで通学しない理由は、市内居住者、市外居住者とも「今の交通手段の方が楽だから」、「今の交通手段の方が早く着けるから」が多い（ただし、市内居住者については「学校から自宅が近いから」が約 49%と最も多い）。</p> <p>○また、市外居住者については、バスの利用環境に関する理由（「自宅からバス停までが遠い」、「路線バスが時間通りに来ないから」、「路線バスの運行本数が少ないから」が約 2 割）も多くなっている。</p> <p>○バス利用のための改善点も、市内居住者、市外居住者とも大きな違いはなく「定時性の向上」や「運行本数が多い」、「朝早くから夜遅くまで運行している」が多い。</p> <p>〔バス利用のために改善して欲しいこと〕</p>  <table border="1"> <caption>バス利用のために改善して欲しいこと</caption> <thead> <tr> <th>改善点</th> <th>市内居住者 (N=234) (%)</th> <th>市外居住者 (N=210) (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自宅や学校からのバス停までの距離</td> <td>23.5</td> <td>24.3</td> </tr> <tr> <td>定時性の向上 (時間通りにバスが到着する)</td> <td>67.1</td> <td>71.0</td> </tr> <tr> <td>運行本数が多い</td> <td>37.2</td> <td>43.8</td> </tr> <tr> <td>朝早くから夕方遅くまで運行している</td> <td>30.8</td> <td>34.8</td> </tr> <tr> <td>路線バスの運行情報がわかりやすい (スマートフォンなどで情報が得られる)</td> <td>23.5</td> <td>13.3</td> </tr> <tr> <td>乗務員や乗客のマナー向上</td> <td>15.0</td> <td>23.3</td> </tr> <tr> <td>低床バスなど乗りやすいバスの導入</td> <td>3.4</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>改善されても路線バスは利用しない</td> <td>9.8</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>13.7</td> <td>24.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※複数回答を集計</p>	居住者	ある (%)	ない (%)	市内居住者 (N=194)	23.7	76.3	市外居住者 (N=41)	63.4	36.6	改善点	市内居住者 (N=234) (%)	市外居住者 (N=210) (%)	自宅や学校からのバス停までの距離	23.5	24.3	定時性の向上 (時間通りにバスが到着する)	67.1	71.0	運行本数が多い	37.2	43.8	朝早くから夕方遅くまで運行している	30.8	34.8	路線バスの運行情報がわかりやすい (スマートフォンなどで情報が得られる)	23.5	13.3	乗務員や乗客のマナー向上	15.0	23.3	低床バスなど乗りやすいバスの導入	3.4	5.2	改善されても路線バスは利用しない	9.8	1.4	その他	13.7	24.8
居住者	ある (%)	ない (%)																																						
市内居住者 (N=194)	23.7	76.3																																						
市外居住者 (N=41)	63.4	36.6																																						
改善点	市内居住者 (N=234) (%)	市外居住者 (N=210) (%)																																						
自宅や学校からのバス停までの距離	23.5	24.3																																						
定時性の向上 (時間通りにバスが到着する)	67.1	71.0																																						
運行本数が多い	37.2	43.8																																						
朝早くから夕方遅くまで運行している	30.8	34.8																																						
路線バスの運行情報がわかりやすい (スマートフォンなどで情報が得られる)	23.5	13.3																																						
乗務員や乗客のマナー向上	15.0	23.3																																						
低床バスなど乗りやすいバスの導入	3.4	5.2																																						
改善されても路線バスは利用しない	9.8	1.4																																						
その他	13.7	24.8																																						
<p>その他、うるま市の 道路・交通に対する 意見</p>	<p>○「下校時に乗車する人が多く、次のバスを待つように言われる」、「<u>石川、金武、宜野座方面への夕方のバス本数増加</u>」、「<u>具志川環状線の便数増加を希望</u>」といった運行本数の増加に対する意見多数。</p>																																							

5. 市内小中学校勤務の教諭アンケート調査

市内小中学校勤務の教諭アンケート調査の調査結果は下表のとおりである。

通勤時には市内居住者、市外居住者とも「自家用車（自分で運転）」が9割以上と自動車交通への依存が高い。ただし、路線バス非利用者を対象とした「バスでの通勤を検討したことがあるか」との質問に対して、「検討したことがある」が約96%と、バスでの通勤を検討したことがある人は非常に多く、潜在的な需要はみられる。

このような中、路線バス非利用者のバスを利用しない理由では、バスの利用環境に関する理由もみられる。

また、今後のうるま市の道路・交通面における施策の必要性についても、「高齢者や免許返納者等が利用しやすいバス路線の整備」が約92%と最も多くなっており、公共交通に対する意識の高さもうかがえる（ただし、「IC周辺や市内の渋滞緩和」など、市内の道路整備等に対する要望も多い）。

以上のことから、今後の公共交通利用促進に向けては、バスロケーションシステムの整備などバスの利用環境の改善が必要といえる。

表 10 調査結果の概要 (1/2)

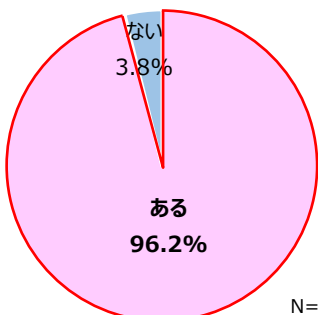
<p>回答者の属性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○回答者数は293人であり、うるま市内居住者が125人、市外居住者が162人（居住地不明が6人）。 ○居住地不明を除くと、市内居住者が約4割、市外居住者は約6割、うち沖縄市が約4割。 ○性別は男性、女性とも概ね5割。 ○年齢は20～50代までの各年代がそれぞれ約1～3割。
<p>通勤時における 路線バス利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○通勤時の交通手段は、市内居住者、市外居住者とも「自家用車（自分で運転）」が9割以上と極端に多く、「路線バス」は市外居住者でわずかに1%程度のみ。 ○市外居住者を対象とした通勤時の高速道路利用状況については、「利用している」は約7%と少ない。 ○通勤時に路線バスを利用しない理由は「今の交通手段が時間がよめるから」が約57%と最も多く、次いで「今の交通手段の方が楽だから」が約46%と多い。 ○なお、バスの利用環境に関する理由では、市内居住者は「自宅からバス停までが遠い」が約26%、市外居住者は「路線バスの運行本数が少ないから」（約17%）、「路線バスの運行ルートがわかりにくいから」（約16%）が多くなっている。 ○また、路線バス非利用者を対象とした「バスでの通勤を検討したことがあるか」との質問に対して、「検討したことがある」が約96%と、バスでの通勤を検討したことがある人は非常に多い。 <div style="text-align: right;"> <p>〔バスでの通勤を検討したことがあるか (対象：路線バス非利用者)〕</p>  <p>N=286</p> </div>

表 11 調査結果の概要 (2/2)

<p>うるま市内外の移動に関する問題</p>	<p>○うるま市内外の移動に関する問題の評価では、「IC 周辺で渋滞している」が約 84%と最も多い。なお、市内居住者、市外居住者とも当該項目が最も多い。 ○次いで、「市内をバスで移動するのが不便」が約 70%、「県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村から公共交通でのアクセスが不便」が約 69%と多い。なお、当該項目についても市内居住者、市外居住者とも多く、公共交通の利用環境によっては、公共交通への転換の可能性も期待できる。</p>																																																																																																																								
<p>今後のうるま市の道路・交通面の施策の必要性</p>	<p>○市内居住者、市外居住者とも同様の傾向であり、「高齢者や免許返納者等が利用しやすいバス路線の整備」が約 92%と最も多い。</p> <p>〔今後のうるま市の道路・交通面の施策の必要性〕 ※各選択肢とも回答者数は 293 人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策</th> <th>必要</th> <th>やや必要</th> <th>どちらでもない</th> <th>あまり必要ない</th> <th>必要ない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村からのアクセス時間の短縮</td> <td>41.3</td> <td>32.4</td> <td>21.2</td> <td>4.4</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村から公共交通サービスの充実</td> <td>39.2</td> <td>38.6</td> <td>17.7</td> <td>3.8</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>新たなICの整備</td> <td>34.8</td> <td>27.0</td> <td>23.9</td> <td>10.6</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>IC周辺や市内の渋滞緩和</td> <td>61.1</td> <td>25.6</td> <td>11.6</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>ICまでのアクセス道路の整備</td> <td>40.6</td> <td>32.4</td> <td>19.8</td> <td>6.1</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>うるま市内のバイパスや那覇市方面と連絡するバイパス等の整備</td> <td>33.4</td> <td>40.6</td> <td>19.1</td> <td>5.1</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>勝連城跡や海中道路などへの高速道路の整備</td> <td>16.4</td> <td>22.5</td> <td>34.5</td> <td>16.7</td> <td>9.9</td> </tr> <tr> <td>うるま市へのアクセスしやすいバス路線の整備</td> <td>32.4</td> <td>36.9</td> <td>28.0</td> <td>2.4</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>市内主要拠点を連絡する利用しやすいバス路線の整備</td> <td>32.8</td> <td>41.0</td> <td>23.9</td> <td>1.7</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>中城湾港新港地区へ連絡するバス路線の整備</td> <td>20.5</td> <td>29.4</td> <td>38.2</td> <td>7.8</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>高齢者や免許返納者等が利用しやすいバス路線の整備</td> <td>71.3</td> <td>20.8</td> <td>7.5</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>バス専用レーンなどバスの走行環境の改善</td> <td>14.0</td> <td>25.3</td> <td>39.2</td> <td>14.0</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>バスセンターなど交通拠点の整備</td> <td>15.0</td> <td>32.8</td> <td>45.1</td> <td>6.1</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>バス停の周辺環境の改善（駐車場・駐輪場、屋根等の整備等）</td> <td>36.5</td> <td>38.9</td> <td>20.5</td> <td>3.1</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>自転車道の整備など自転車の利用環境の改善</td> <td>33.4</td> <td>35.2</td> <td>24.9</td> <td>6.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>観光施設周辺などのレンタサイクル・シェアサイクルの導入</td> <td>18.8</td> <td>25.6</td> <td>43.0</td> <td>8.5</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>景観や観光を楽しめるような道路空間の整備</td> <td>27.0</td> <td>38.2</td> <td>27.0</td> <td>5.5</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>イベント時の会場や観光施設へのシャトルバスの運行</td> <td>44.4</td> <td>35.8</td> <td>17.7</td> <td>1.4</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>主要拠点や観光施設等の案内の充実</td> <td>31.7</td> <td>45.1</td> <td>20.5</td> <td>2.4</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>○次いで「IC 周辺や市内の渋滞緩和」が約 87%、「県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村から公共交通サービスの充実」が約 78%と多く、「うるま市内外の移動に関する問題」で問題と感じている項目に関する施策の必要性が多くなっている。</p> <p>○なお、本調査はうるま市内で就業している人が対象となっているため、web アンケート調査と比較すると、道路・交通面において施策の必要性があるとの回答割合が全体的に多くなる傾向にある。</p>	施策	必要	やや必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない	県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村からのアクセス時間の短縮	41.3	32.4	21.2	4.4	0.7	県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村から公共交通サービスの充実	39.2	38.6	17.7	3.8	0.7	新たなICの整備	34.8	27.0	23.9	10.6	3.8	IC周辺や市内の渋滞緩和	61.1	25.6	11.6	1.7	1.7	ICまでのアクセス道路の整備	40.6	32.4	19.8	6.1	1.0	うるま市内のバイパスや那覇市方面と連絡するバイパス等の整備	33.4	40.6	19.1	5.1	1.7	勝連城跡や海中道路などへの高速道路の整備	16.4	22.5	34.5	16.7	9.9	うるま市へのアクセスしやすいバス路線の整備	32.4	36.9	28.0	2.4	0.3	市内主要拠点を連絡する利用しやすいバス路線の整備	32.8	41.0	23.9	1.7	0.7	中城湾港新港地区へ連絡するバス路線の整備	20.5	29.4	38.2	7.8	4.1	高齢者や免許返納者等が利用しやすいバス路線の整備	71.3	20.8	7.5	0.3	0.3	バス専用レーンなどバスの走行環境の改善	14.0	25.3	39.2	14.0	7.5	バスセンターなど交通拠点の整備	15.0	32.8	45.1	6.1	1.0	バス停の周辺環境の改善（駐車場・駐輪場、屋根等の整備等）	36.5	38.9	20.5	3.1	1.0	自転車道の整備など自転車の利用環境の改善	33.4	35.2	24.9	6.1	0.3	観光施設周辺などのレンタサイクル・シェアサイクルの導入	18.8	25.6	43.0	8.5	4.1	景観や観光を楽しめるような道路空間の整備	27.0	38.2	27.0	5.5	2.4	イベント時の会場や観光施設へのシャトルバスの運行	44.4	35.8	17.7	1.4	0.7	主要拠点や観光施設等の案内の充実	31.7	45.1	20.5	2.4	0.3
施策	必要	やや必要	どちらでもない	あまり必要ない	必要ない																																																																																																																				
県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村からのアクセス時間の短縮	41.3	32.4	21.2	4.4	0.7																																																																																																																				
県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村から公共交通サービスの充実	39.2	38.6	17.7	3.8	0.7																																																																																																																				
新たなICの整備	34.8	27.0	23.9	10.6	3.8																																																																																																																				
IC周辺や市内の渋滞緩和	61.1	25.6	11.6	1.7	1.7																																																																																																																				
ICまでのアクセス道路の整備	40.6	32.4	19.8	6.1	1.0																																																																																																																				
うるま市内のバイパスや那覇市方面と連絡するバイパス等の整備	33.4	40.6	19.1	5.1	1.7																																																																																																																				
勝連城跡や海中道路などへの高速道路の整備	16.4	22.5	34.5	16.7	9.9																																																																																																																				
うるま市へのアクセスしやすいバス路線の整備	32.4	36.9	28.0	2.4	0.3																																																																																																																				
市内主要拠点を連絡する利用しやすいバス路線の整備	32.8	41.0	23.9	1.7	0.7																																																																																																																				
中城湾港新港地区へ連絡するバス路線の整備	20.5	29.4	38.2	7.8	4.1																																																																																																																				
高齢者や免許返納者等が利用しやすいバス路線の整備	71.3	20.8	7.5	0.3	0.3																																																																																																																				
バス専用レーンなどバスの走行環境の改善	14.0	25.3	39.2	14.0	7.5																																																																																																																				
バスセンターなど交通拠点の整備	15.0	32.8	45.1	6.1	1.0																																																																																																																				
バス停の周辺環境の改善（駐車場・駐輪場、屋根等の整備等）	36.5	38.9	20.5	3.1	1.0																																																																																																																				
自転車道の整備など自転車の利用環境の改善	33.4	35.2	24.9	6.1	0.3																																																																																																																				
観光施設周辺などのレンタサイクル・シェアサイクルの導入	18.8	25.6	43.0	8.5	4.1																																																																																																																				
景観や観光を楽しめるような道路空間の整備	27.0	38.2	27.0	5.5	2.4																																																																																																																				
イベント時の会場や観光施設へのシャトルバスの運行	44.4	35.8	17.7	1.4	0.7																																																																																																																				
主要拠点や観光施設等の案内の充実	31.7	45.1	20.5	2.4	0.3																																																																																																																				

6. 中城湾港新港地区の通勤者アンケート調査

中城湾港新港地区の通勤者アンケート調査の調査結果は下表のとおりである。

通勤時においては市内居住者、市外居住者とも「自家用車（自分で運転）」が9割以上と自動車交通への依存が高い。また、路線バス非利用者を対象とした「バスでの通勤を検討したことがあるか」との質問に対して、「検討したことがある」が約1割である。

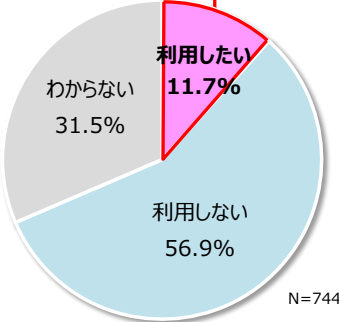
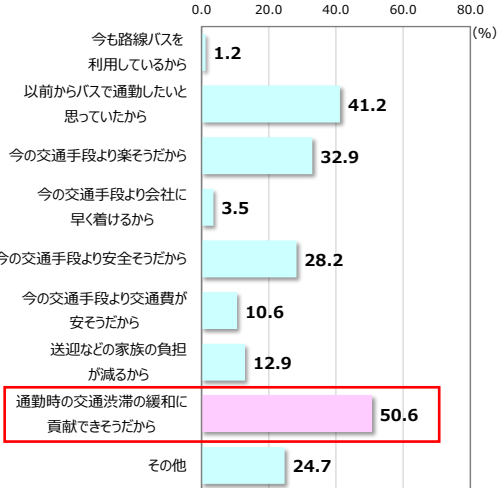
ただし、中城湾港新港地区へ路線バスが延伸することで、1割ほどの人が路線バスを利用すると回答しており（中城湾港新港地区の従業員は約6,000人であり、調査結果を加味すれば約600人が路線バスを利用したいと考えているということになる）、また、利用理由として「通勤時の交通渋滞の緩和に貢献できそうだから」が約5割と、交通渋滞に対する意識は低くはない。

以上のことから、今後の公共交通利用促進に向けては、公共交通の利用意識の向上が必要といえる。

表 12 調査結果の概要 (1/2)

<p>回答者の属性</p>	<p>○回答者数は809人であり、うるま市内居住者が297人、市外居住者が499人（居住地不明が13人）。</p> <p>○居住地不明を除くと、市内居住者が約4割、市外居住者は約6割、うち沖縄市が約4割。</p> <p>○性別は男性が約3割、女性が約7割。</p> <p>○年齢は30代、40代が多いものの、10～60歳以上まで幅広い。</p>																																																					
<p>通勤時における 路線バス利用</p>	<p>○通勤時の交通手段は、市〔通勤時の交通手段〕内居住者、市外居住者とも「自家用車（自分で運転）」が9割以上と極端に多く、「路線バス」はわずか。</p> <table border="1" data-bbox="794 1093 1422 1355"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">市内居住者</th> <th colspan="2">市外居住者</th> </tr> <tr> <th>回答数</th> <th>構成比 (%)</th> <th>回答数</th> <th>構成比 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>徒歩</td> <td>5</td> <td>1.7</td> <td>5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>自転車</td> <td>5</td> <td>1.7</td> <td>14</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>自家用車（自分で運転）</td> <td>274</td> <td>92.9</td> <td>470</td> <td>94.4</td> </tr> <tr> <td>自家用車（家族等の送迎）</td> <td>17</td> <td>5.8</td> <td>16</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>原付など二輪車</td> <td>3</td> <td>1.0</td> <td>7</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>路線バス</td> <td>1</td> <td>0.3</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0.0</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>回答者数</td> <td colspan="2">295</td> <td colspan="2">498</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※複数回答を集計、無回答除く</p> <p>○市外居住者を対象とした通勤時の高速道路利用状況については、「利用している」は約5%と少ない。</p> <p>○通勤時に路線バスを利用しない理由は「今の交通手段が会社に早く着けるから」が約49%と最も多く、次いで「今の交通手段の方が楽だから」が約44%と多い。</p> <p>○なお、バスの利用環境に関する理由では、「会社からバス停までが遠いから」が約33%と多くなっている。〔バスでの通勤を検討したことがあるか（対象：路線バス非利用者）〕</p> <p>○また、路線バス非利用者を対象とした「バスでの通勤を検討したことがあるか」との質問に対して、現状は「検討したことがある」が1割程度である。</p> <div data-bbox="1023 1713 1345 2011" style="text-align: right;"> <p>ある 7.4%</p> <p>ない 92.6%</p> <p>N=620</p> </div>						市内居住者		市外居住者		回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	徒歩	5	1.7	5	1.0	自転車	5	1.7	14	2.8	自家用車（自分で運転）	274	92.9	470	94.4	自家用車（家族等の送迎）	17	5.8	16	3.2	原付など二輪車	3	1.0	7	1.4	路線バス	1	0.3	0	0.0	その他	0	0.0	0	0.0	回答者数	295		498	
	市内居住者		市外居住者																																																			
	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)																																																		
徒歩	5	1.7	5	1.0																																																		
自転車	5	1.7	14	2.8																																																		
自家用車（自分で運転）	274	92.9	470	94.4																																																		
自家用車（家族等の送迎）	17	5.8	16	3.2																																																		
原付など二輪車	3	1.0	7	1.4																																																		
路線バス	1	0.3	0	0.0																																																		
その他	0	0.0	0	0.0																																																		
回答者数	295		498																																																			

表 13 調査結果の概要 (2/2)

<p>中城湾港新港地区へ路線バスが延伸された場合の利用意向</p>	<p>○1 割程度の人が「利用したい」と回答。 ○また、「利用したい」と回答した人の約 5 割が利用する理由を「通勤時の交通渋滞の緩和に貢献できそうだから」と回答しており、交通渋滞に対する意識は低くはない。</p> <p>〔中城湾港新港地区へ路線バスが延伸された場合の利用意向〕</p>  <p>〔利用したいと回答した理由〕</p>  <p>※回答者数 85 人、複数回答を集計</p>
<p>うるま市内外の移動に関する問題</p>	<p>○うるま市内外の移動に関する問題の評価では、「IC 周辺で渋滞している」が約 73%と最も多い。なお、市内居住者、市外居住者とも当該項目が多い。 ○次いで、「県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村からのアクセス時間がかかる」が約 71%、「県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村から公共交通でのアクセスが不便」が約 67%と多い。なお、当該項目についても市内居住者、市外居住者とも多く、公共交通の利用環境によっては、公共交通への転換の可能性も期待できる。</p>
<p>今後のうるま市の道路・交通面の施策の必要性</p>	<p>○「高齢者や免許返納者等が利用しやすいバス路線の整備」が約 82%と最も多く、次いで「IC 周辺や市内の渋滞緩和」が約 80%、「県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村からのアクセス時間の短縮」が約 78%、「県内主要都市・拠点（那覇空港等）や近隣市町村から公共交通サービスの充実」が約 76%と多く、「うるま市内外の移動に関する問題」で問題と感じている項目に関する施策の必要性が多くなっている。 ○なお、本調査はうるま市内で就業している人が対象となっているため、市内小中学校勤務の教諭アンケート調査と同様、web アンケート調査と比較すると、道路・交通面において施策の必要性があるとの回答割合が全体的に多くなる傾向にある。</p>